



NPO法人食品安全ネットワーク便り 第136号

《略称：フーサンだより》

(2018年9月)

発行：NPO法人食品安全ネットワーク(Food Safety Network)

理事長：角野 久史 編集担当：森田 真、平井 由紀

ホームページ：<http://www.fu-san.jp/>

事務局：〒541-0056 大阪市中央区久太郎町1-4-8 堺筋本町ガーデンスクエア

イカリ消毒株式会社 TEL.06-6264-2741 FAX.06-6264-2740



食品安全ネットワークと私

NPO法人 食品安全ネットワーク 理事
株式会社大つる 常務取締役 島路 幸宏



株式会社大つるの島路と申します。食品安全ネットワークの7不思議ですが、とても小さい、すごく古い、食品衛生の基礎がない3拍子揃った零細企業の雑用係の私が理事を務めさせていただいています。前職、物流センターの運営に携わっていた私にとって、食品業界は知らないことが多すぎて報告書の作成、及び監査の対応、作業工程の効率化に困り果てていました。そんな時、食品安全ネットワークの存在をネットで知り、藁をもすがる気持ちで入会させていただきました。私にとって難しい内容もありますがセミナーや工場見学、海外研修、また情報交換会などを通じて、心強い知識豊富な多くの方々が気軽に受け入れていただき、良い出会いがたくさんあったことを非常に感謝しています。

株式会社大つるは2010年当時20代が2名しかいない高齢型、経験重視型、パート中心型の食品

製造会社でしたが、2011年4月より毎年新卒の高校生と技能実習生を採用し続けた結果、現在では20代が16名も働く企業となりました。しかし、若者を採用し続けるために何か若者の心に響くイベントが必要と思っていた時に7Sと出会いました。我が社の7S活動は、2013年2月の食品衛生7S実践事例発表会事例発表会に若手社員5名を引率して参加したのが記念すべき第1歩となりました。他社の発表を聞いていた時に、「これなら私たちにもできそうだね」という会話を聞いた瞬間に私の心に火がつけました。

翌日、早速7Sチームを若者中心で編成し、毎週水曜日の13時に30分の時間を与え、できることから順番に自分たちで考えたことを具体化していきました。不安もありましたが自主性を重んじ彼らにまかせると、まじめで内気な若者の集団から、笑い声が聞こえ朴訥ですが自分の意見を言っているのを遠くで聞いていると、若者だけで編成したことに私も自信を持ちました。毎週水曜日はまるでクラブ活動の日となり、毎日遅くまで残業の続く中、ひと時の憩いの場になっていたようです。そして翌年の発表会で1年間の活動成果を発表する機会を与えていただき、見事にビギナーズラックで最優秀賞を受賞させていただきました。新人たちの活動に加点評価していただいた審査員の方々に感謝いたします。現在5年が経過し、紆余

曲折はありましたが、全社員が食品安全ネットワークの食品衛生7S基礎講座を受講させていただき、7Sの精神は全員に刻み付けられたと思っています。

また、食品安全ネットワークと出会ったおかげで下記の貴重な経験をさせていただきました。

1. 若い社員が4回も講師として人前で話をする機会をいただいた
2. 協力工場が弊社工場の見学後、弊社の改善点を早速まねをして導入された
3. 月刊食品工場長に僭越ながら取材され5ページも特集記事が掲載された
4. 食品衛生7Sの実践事例集に2回も掲載していただいた
5. グループ会社2社が弊社の活動が刺激となり3S活動を導入した
6. 私自身、役員に昇格した

下記に現在社内で行っている活動を列記してみます。

1. 朝活の実施/毎日
 - (ア) 朝礼前の5分間清掃
 - (イ) 自動真空包装機の足、1日1足清掃
 - (ウ) 8台の計量器のすきま清掃
 - (エ) 使用道具の80℃1分漬け清掃
 - (オ) 1mまでの壁面の2m幅清掃
 - (カ) 天井のパネル1枚清掃
 - (キ) ベルトコンベヤーの足1本清掃
2. 昼活/毎日 共有場所清掃 13時から15分間
 - (ア) 階段
 - (イ) 工場トイレ
 - (ウ) 手洗い場
 - (エ) エアシャワー
 - (オ) 文具・電話・扉
3. 週活 主に機械清掃 月曜13時から15分間
 - (ア) 自動真空包装機の充填ポンプ分解清掃
 - (イ) ベルトコンベヤー電動部分解清掃
 - (ウ) 殺菌槽水交換・清掃
 - (エ) 真空包装機のフィーダー線交換

(オ) 通さないフィルターの交換

(カ) 作業台清掃

(キ) 冷蔵庫内清掃

4. 担当制 すべての設備に担当者と補助を決めている

(ア) 自動真空包装機

(イ) ベルトコンベヤー

(ウ) 作業台

(エ) センター作業台

(オ) 手洗い衛生資材

(カ) 自動ラベラー

(キ) 異物帳管理

(ク) 資材補給

(ケ) 除水機

5. 専務巡回/毎日

(ア) 必ず毎日全部署をまわり、チェック

(イ) その場で指示

(ウ) iPadで撮影

(エ) 翌日朝礼で情報をテレビに映し共有化

6. ドクターイエロー

(ア) 改善した場所を黄色くする

(イ) 改善事例のビフォーアフターを掲示する



7. 1か月に1題毎日朝礼時に唱和

(ア) 201609 アレルゲン特定7品目 大前

(イ) 201610 アレルゲン推奨20品目 大前

(ウ) 201611 食中毒菌 入江

(エ) 201612 大量調理マニュアル数値 山田

(オ) 201701 正範語録 前田

(カ) 201703 7Sの定義 赤松

(キ) 201704 食品添加物 大迫

(ク) 201705 大量調理マニュアル全文 土屋

(ケ) 201707 人を動かす(山本五十六) 波多野

(コ) 201708 性格は顔に出る 脇添

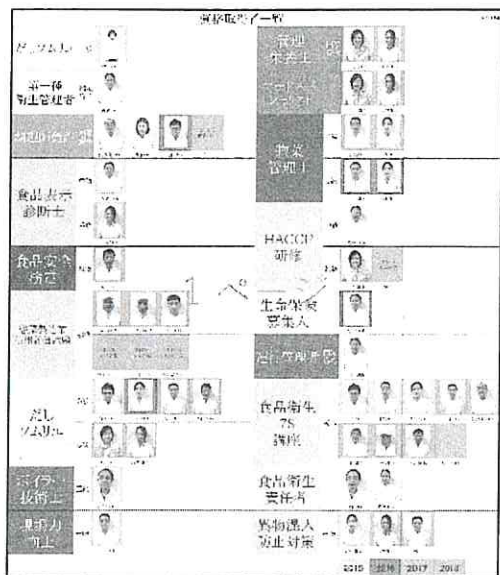
(サ) 201709 ベトナム語挨拶 コン

- (シ) 201710 有毒植物 塔本
- (ス) 201711 雨にも負けず (宮沢賢治) 明山
- (セ) 201712 旬の食材 中井
- (ソ) 201801 みんなのいいところ 大岡
- (タ) 201804 金属探知機
(CCPのため2か月実施) 脇添

(チ) 201806 殺菌13条件 大迫

8. 資格制度

- (ア) 全社員
- (イ) レベル、部署に応じて
- (ウ) 受験料会社負担
- (エ) 高度な資格は手当有り
- (オ) 実習生も取得



9. お誕生日会

- (ア) 2か月に1度
- (イ) 専務が自費でバースデイケーキ
- (ウ) 40歳以下
- (エ) 会社の商品の味見会
- (オ) 30分後に経営陣は退散し社員に運営を任せる

10. 日帰り慰安旅行 (2018年6月2日)

(会社創立以来初です)

- (ア) 社員
- (イ) パート
- (ウ) 実習生
- (エ) 低学年までの子供

11. 7S社内改善チーム

- (ア) 部署ごと少人数制 (2~3人)



(イ) 週1日13時より30分

(ウ) 10月、11月、12月は繁忙期のため休止

12. ATP検査の活用

- (ア) 月曜日の朝礼後に5か所無作為検査
- (イ) 月に1度、手洗いコンテスト

13. 社内検定

- (ア) 社員は100問、パートは20問
- (イ) 大量調理マニュアルを中心に出題
- (ウ) 70点以下は追試

14. 異物発見ダービー

- (ア) 異物を社内で発見したら異物帖に記録
- (イ) 専務が自腹で一個につき1コーヒー代を報奨金として払う
- (ウ) 過去の事例から原因を探索、データベース作成

15. 帽子の色分け

- (ア) 帽子青……………社員
- (イ) 帽子白+腕カバー白……………ベテランパート
- (ウ) 帽子白+腕カバー青……………短期パート
- (エ) 帽子白+腕カバーピンク…学生バイト

16. 社員育成のための見える化

社員のセミナー参加や資格取得、工場見学などをポイント化し、できる限り平等に参加できるようにする

皆さまのアドバイスや工場見学のおかげで、社内がどんどん改善され社員も明るくなってきました。

というよりも真似をただけですが・・・。

また、大卒女子社員2名の入社や意欲のある社員の入社もあり仲間づくりをしながら、来年のHACCP認証の取得に向けて第1歩を踏み出しました。

今いる子達の未来のために新社屋建設の意欲も出てきました。

これからも皆様の熱い情熱を共有させていただければ幸いです。